資料3

シェアサイクルの実証実験の開始について

実証実験の概要

1.実証実験の目的

- 昨今の運転士不足や利用者数の減少等により、路線バスの廃止・減便等が懸念される状況を踏まえ、公共交通機能の補完を主目的に、市内移動の利便性向上や地域活性化にも資する交通手段としてのシェアサイクルの有効性及び課題を実証的に検証します。

2.実証実験の期間

- 令和8年3月3日～令和13年3月31日の約5年間（予定）

3.導入区域

- JR学研都市線沿線（東大阪市、大東市、寝屋川市、枚方市）でシェアサイクルの実証実験・導入が進展している状況を踏まえ、本市においても鉄道駅や生活拠点へのアクセス性が高く、周辺自治体との移動需要が見込まれる西部市街地を導入区域として設定します。

実証実験の概要

4.費用負担について

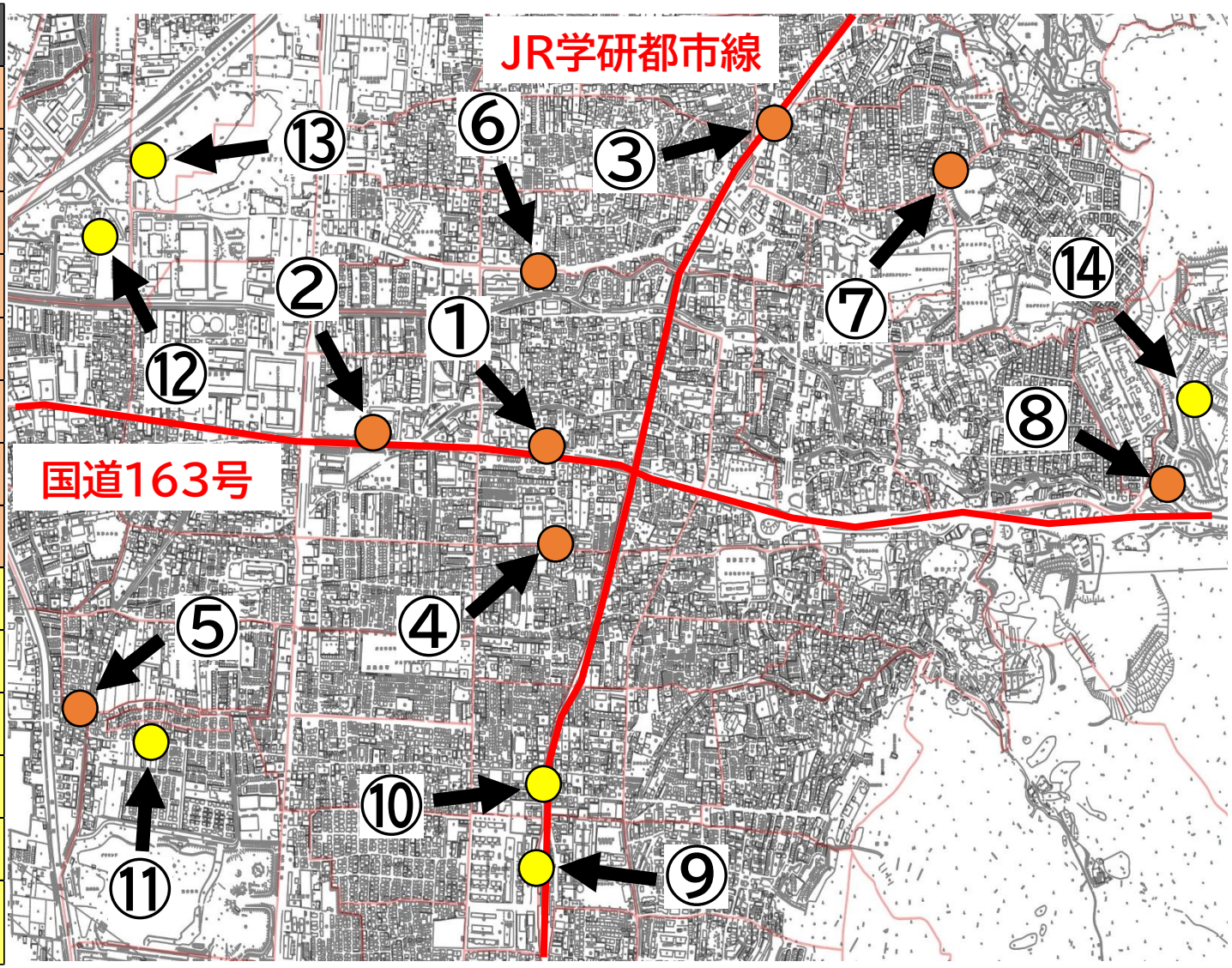
- 本市としては**公共用地のみの提供**を行い、事業者において初期費用や運用費用を負担していただきます。
（車両やシステム、敷地使用料等）

5.実施体制

担当	役割・業務内容
四條畷市	・実証実験全体の統括、調整 ・公共用地（ポート設置場所）の提供・確保 ・市民への広報（HPや広報誌等） ・関係機関との調整 ・効果検証（アンケート等の実施）
民間事業者	・シェアサイクルシステムの提供・運営 ・車両（自転車）の調達・配備 ・ポート設置及び撤去 ・事故対応、コールセンターの運営　等

サイクルポート設置箇所

番号	ポート地名称	設置台数
①	四條畷市役所	4台
②	市民総合体育館	7台
③	忍ケ丘駅北自転車駐車場	9台
④	福祉コミュニティーセンター	3台
⑤	南外島児童遊園	5台
⑥	開発７号公園	8台
⑦	開発５８号公園	5台
⑧	開発４８号公園	5台
⑨	JR四条畷駅	2台
⑩	四条畷変電所	3台
⑪	河北バス停留所	7台
⑫	南寝屋川公園	6台
⑬	イオンモール四條畷	11台
⑭	大阪電気通信大学 四條畷キャンパス	8台



黄色着色箇所(⑨～⑬)は、他市または事業者設置

令和8年2月27日現在

今後について

- 実証実験の導入時点では、スモールスタートとして市有地のみにポートを設置して開始します。
- 今後は、実証実験の状況を踏まえつつ、順次、市有地におけるポート設置箇所の拡大を図るとともに、ご協力いただける民有地等への設置についても検討してまいります。
- 設置箇所については、決定した内容を市ホームページにて順次公開するとともに、変更等が生じた場合は随時更新してまいります。
- 実験結果をもとに台数やエリアを最適化し、市民の足として定着させ、公共交通機関を補完する持続可能な移動手段へと発展させていければと思います。